

1 研究の優れている点

- 先行研究を発展させた課題性
 - ・ 「課題解決の場面」の設定
 - ・ 「課題解決の過程」の肯定的な評価
- データに基づいた客観性
 - ・ 「ベースライン期」と「指導期」
 - ・ 活動回数等の増加又は減少
- 場面設定及び評価の方法の実用性
 - ・ 自分で考えて課題解決する場面の設定方法
 - ・ 課題解決の過程の肯定的な評価方法
 - ・ 学部別及び障害種別による実践例

2 研究との関連事項 (1)

平成26年度 成果

役割を与えて適切な評価をする。
→ **キャリア発達が高まる。**

ポイント

- 将来の目指す姿の明確化
- 多様・多重な評価 → **平成27年度 課題解決の過程の評価**
- チャレンジ・緊張感のある役割設定

参考：平成26年度広島県特別支援学校教育研究会第2グループ（平成26年）：『障害のある幼児児童生徒に対するキャリア教育の推進について～役割設定と適切な評価の実施を通して～』

2 研究との関連事項 (2)

指導の評価と改善

評価に当たっては

- **主体的な学習**の仕方が身に付くよう配慮する。
- **学習意欲**を喚起することが大切である。
- 学習の成果だけでなく、学習の**過程**を一層重視する必要がある。

参考：文部科学省（平成21年）：『特別支援学校学習指導要領解説 総則等編（幼稚園・小学部・中学部）』

2 研究との関連事項 (3)

主体性を高める「多様・多重な評価」

- 肯定的な評価・即時評価
- 実物等を見せながらの振り返りと学習内容の評価
- 振り返りシート・ファイルの活用
- 指導者や友だちによる多様な評価
- 保護者等による多重の評価

参考：竹野政彦・矢野清英（平成26年）：『知的障害のある児童生徒に対する授業改善の研究～工夫がもたらした課題分析を通して～』「広島県立教育センター 研究紀要 第41号」

3 今後に期待すること (1)

知識ベースの学び

知識の習得 ○
知識の活用 △
学習意欲 △

学びの変革

コンピテンシーの育成を目指した主体的な学び

深い知識
スキル
学びの価値
意欲・態度

参考：広島県教育委員会（平成26年）：『グローバル化する21世紀の社会を生き抜くための新しい教育モデルの構築 広島版「学びの変革」アクション・プラン ―コンピテンシーの育成を目指した主体的な学びの充実―』

3 今後に期待すること (2)

見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視

例

【授業の冒頭】学習の見通し

→ **めあて（目標）** やるぞ！

【授業の最後】学習内容の振り返り

→ **振り返り** やったぞ！できた！

参考：文部科学省（平成21年）：『特別支援学校学習指導要領解説 総則等編（幼稚園・小学部・中学部）』